

試走報告

試走日時 2016/09/10 07:30 - 19:00

朝の内は曇っていましたが、徐々に晴れて、快晴中の試走となりました。全般に、交通量が少ないわけではありませんが、都市部に比べるとゆったりしています。その地方の幹線道路のため、大型のトラックなども通行しますが、安全に追い越せるまで後ろで待ってくれたことが多かったです。

スタート-PC1

栄橋を渡るまでは、街の中です。十分に注意してください。#4の下り4%は見落としやすいので注意しましょう。(気付かなかったスタッフもいます) 橋を渡ってしばらくすると、ゆったりとした幅のある道になります。

#7の左折は、交差点に名称表示が無いので、注意してください。これを間違えずにまっすぐ進めば、自衛隊の駐屯地に突き当たります。駐屯地が近くなるとだんだん狭くなってきますので、安全に注意して進んでください。

右拐Sは直進です。監視小屋(#11)はもう少し先ですので、あわてないように。駐屯地をあとに少し進むと、土浦の中心部を通過します。

R6のバイパス化などのおかげで、ひどい渋滞には合わないと思います。

町はずれまで来ると、工場が続き、工場が切れたところで、右折になります。

ここからようやく、ブルベらしい道になります。果樹園の中を通過するので、農家の直売が点在しています。ぶどう、なし・・・この地域を過ぎると農家の直売はほとんどないので、フルーツ好きの人はこのあたりでどうぞ。

果樹園が終われば、田圃です。台風で倒れた稲が多かったです。稲刈りは大変そうです。ブルベ当日には稲刈りは終わっていることでしょう。

そうこうしているうちに、PC1です。

PC1 - PC2

PC1 から PC2 までの大部分が R355 と地方の幹線道路です。霞ヶ浦の湖面が光って見えます。

この道には他では見られない「まっすぐ」な区間があります。他人に牽かれると、「まっすぐ」は見えません。信号も感應式が多く、行方の南部に達するまで止まらないで走り続けられます。

R51 の高架下をくぐり、K5 に入ると、潮来の古い町並みの中を進みます。上戸 S では、二輪用押しボタンと正面の信号で、K5(右斜め前)へ進んでください。曲松で R51 に合流し、まっすぐに進み、鱈川を渡ると鹿島です。

私たちは、少し寄り道して、鹿島神宮で、BRM の安全を祈念してきました。

鹿島神宮の森を左回りに回ると間もなく PC2 です。

PC2-PC3

PC2 から、PC3 の区間は最初の左折ポイント(#32)をミスしなければ、難しくはないでしょう。信号のある交差点を通過したら、最初の左折できるポイントです。

木々に隠れて近づくまでわかりにくいかもしれません。

そこを進むと、正面に一軒の家がみえます。それに向かって左側に直進する道がありますが、近づくまで見えません。この先、少しの間木陰があり、暑い日にはほっとします。しばらく進んで、K18 へ合流します。

K18 も鹿行大橋東 S まで快走区間です。このあたり、どんどん道路整備が進んでいて、交差点の名前のプレートや、道標が設置されたりしています。

キューシートと現地の状態が異なるかもしれないので、注意してください。

鹿行大橋西 S を左折すると、最初の小さな道を右折します。(市役所庁舎前)ここをちょっと登れば、PC3 です。

PC3 - PC4

PC3 をでて、少し下ると繁昌 S を左折します。近づくまで見えにくくので、通り過ぎないように注意しましょう。北浦の西岸ののどかな道を進んで、延方 T 字路右折で R51 に戻ってきます。

セイミヤ前を斜め左に入り、少し進むと、曲松の NTT のアンテナが近くに見えてきます。ほぼ、横に見えたところが、左折ポイントになります。

K50, K101と進み、潮来の駅前を通過します。小さな川に橋がかかっていますが、ここに「あやめ園」があります。残念ながら、季節外れで花はありませんが、伊太郎の像は健在でした。

あやめ園入口 S の表示は大変見にくいので注意してください。これをクリアすれば、すぐ PC4 です。PC4 のトイレはちょっとプアです。気になる人は、他を利用した方が良いでしょう。

PC4 - ゴール

PC4 をあとにゴールを目指します。多くの人は、この途中で日没を迎えると思います。利根川の横を川上へ登っていきますが、平坦で信号も少ないので、一度のったスピードを維持できます。

K11 が左折するところがありますが、大型車両通行止めの細い道なので、見落とさないようにしましょう。(先頭を突っ走っていったスタッフは行き過ぎたようです。)[取手左折(K11)]の道標を見た後、ゆるい右カーブの途中にあります。

そろそろ暗くなり始めるので、ライトなどの準備も必要です。

快適に進んでいると思っていると、あっという間に、住宅の立て込んだ道に迷い込んだようなカンジになって突き当りを右折。栄橋が目の前です。時間帯によりますが、栄橋前後は渋滞していることがあります。この先は、来た道を帰るだけです。ゴールまで、気を付けて進みます。

以上